

インターバンクの声（2016 年 4 月 5 日）

週明けの海外市場のドル円は、ロンドン市場の序盤では 111 円台の後半へとゆっくり円売りが進んでいたが、結局ニューヨーク市場では再び円買いとなってしまう。何とか 111 円台前半で円買いが止まっている格好だが、どう見ても円の先高観が強くなっている。先週イエレン FRB 議長が講演で追加利上げに慎重な発言をしたことを市場が引き続き強く意識しているようだ。ただ、今年の連邦公開市場委員会（FOMC）で投票権を持つボストン連銀のローゼングレン総裁が昨日の講演で、連邦準備制度理事会（FRB）が市場が見込んでいるよりも早い時期に利上げを行う公算が大きいとの見方を示した。同総裁は FRB 内ではハト派と認識されており、先週のイエレン議長の講演前にも複数の地区連銀総裁がタカ派寄り発言をしていたことを考慮すれば、必ずしもイエレン議長の見方が今の FOMC のコンセンサスではないかも知れない。もし市場が円の先高観を維持したまま 4 月 27 日の FOMC が利上げを決定するようなことになれば、意外な相場展開になることも想定しておいたほうが良いだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。